



GOLD PARTNER

©Expo 2025

第26期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日

 **ジャパンマテリアル株式会社**

証券コード：6055



代表取締役社長 田中久男

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第26期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

おかげさまで、第26期の連結売上高は465億34百万円、営業利益は110億97百万円となり、10期連続増益、最高益更新と右肩上がりの成長を遂げております。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも邁進してまいります。

企業理念

技術を磨き 産業を支え 未来を拓く

経営理念

・安全最優先

いつ、いかなるときも安全第一。
高いプロ意識で産業を支えます。

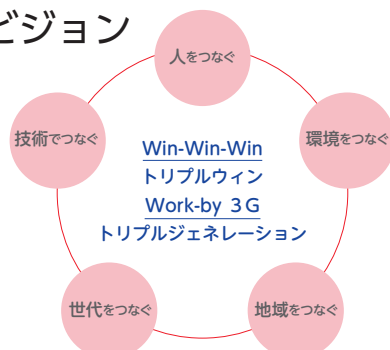
・Win-Win-Win
(トリプルウィン)

先進技術と誠実な仕事で、顧客の事業に貢献します。
取引先や地域と共生し、共に繁栄する関係を築きます。
学びと成長を支援し、社員一人ひとりの強みを伸ばします。

・未来を拓く

事業を通じ、人を育て、環境を守り、豊かで公正な社会を目指します。

経営ビジョン



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳~70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

売上高

465億34百万円

前年同期比22.5%増



営業利益

110億97百万円

前年同期比18.9%増



経常利益

113億07百万円

前年同期比16.4%増



親会社株主に帰属する当期純利益

79億04百万円

前年同期比17.4%増



- イニシャル部門は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資が一部後ろ倒しとなったものの、堅調に推移
- オペレーション部門は、主要顧客である半導体工場における減産の影響を受けたものの、特殊ガス販売管理業務、半導体製造装置メンテナンスを中心に堅調に推移

「JPX 日経インデックス 400」の構成銘柄に選定されました

当社は2022年8月、株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出を行っている「JPX 日経インデックス 400」の構成銘柄として、前年度に引き続き選定されました。

本指数は、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資家にとって投資魅力の高い会社」で構成され、日本企業の魅力を内外にアピールするとともに、その持続的な企業価値向上を促し、株式市場の活性化を図ることを目的として創生された株価指数です。

今後も投資家の皆様のご期待に沿えるよう、更なる企業価値の向上を目指した事業運営に尽力してまいります。

※「JPX 日経インデックス 400」の詳細につきましては、以下をご参照ください。

<https://www.jpj.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/index.html>



JPX-NIKKEI 400



当期の業績についてお聞かせください。

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資が一部後ろ倒しとなったものの、第3四半期までは設備投資が継続して実施されたことから、堅調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門も、主要顧客である半導体工場における減産の影響を受けたものの、顧客半導体工場の拡大と第3四半期までの順調な生産活動を背景として、特殊ガス販売管理業務、半導体製造装置メンテナンスを中心に堅調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け関連商品を中心に堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

業績ハイライト

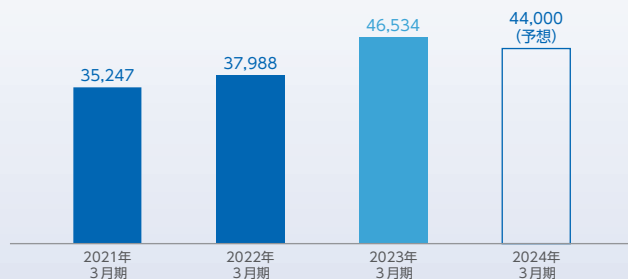
売上高

465億34百万円

前年同期比
22.5%増



(単位：百万円)



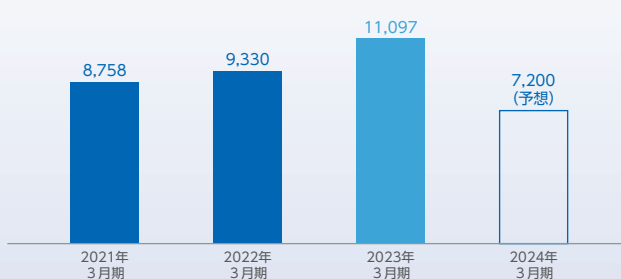
営業利益

110億97百万円

前年同期比
18.9%増



(単位：百万円)



※2024年3月期の予想は2023年5月12日現在のものです。

次期の見通しについてお聞かせください。

当社グループの属する半導体業界においては、材料価格は高止まりが続くものの、半導体需給の緩みにつきましては、時期は不透明ではありますが、今後徐々に改善していくことが想定されます。

このような状況の中、当社グループは主要顧客における設備投資に対するイニシャル部門、主要顧客の生産拡大に伴うオペレーション部門それぞれにおいて、顧客ニーズに応えるべく事業展開を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門では、当社グループ内において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント（TFM）」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における設備投資が実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋がってまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションの提供を拡大してまいります。さらに非接触インタラクティブサイネージなどのデジタルサイネージ向け製品や、ビデオプロセッサなどのグラフィックス製品を中心に積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

今後も安全最優先の経営理念の下、持続可能な社会発展に貢献し、一層成長できるようステークホルダーの皆様との連携を深め、SDGsの視点に立った環境、社会、ガバナンスへの取り組みを強化してまいります。

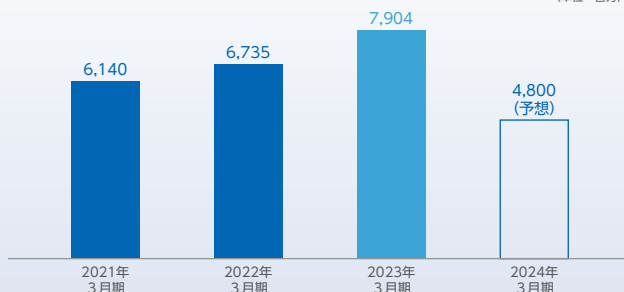
親会社株主に帰属する当期純利益

79億04百万円

前年同期比
17.4%増



(単位：百万円)



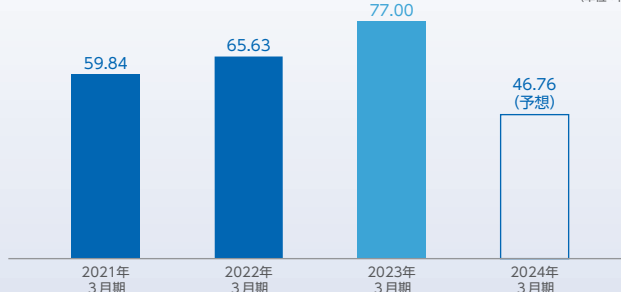
1株当たり当期純利益

77円00銭

前年同期比
17.3%増



(単位：円)



事業紹介

Business Outline

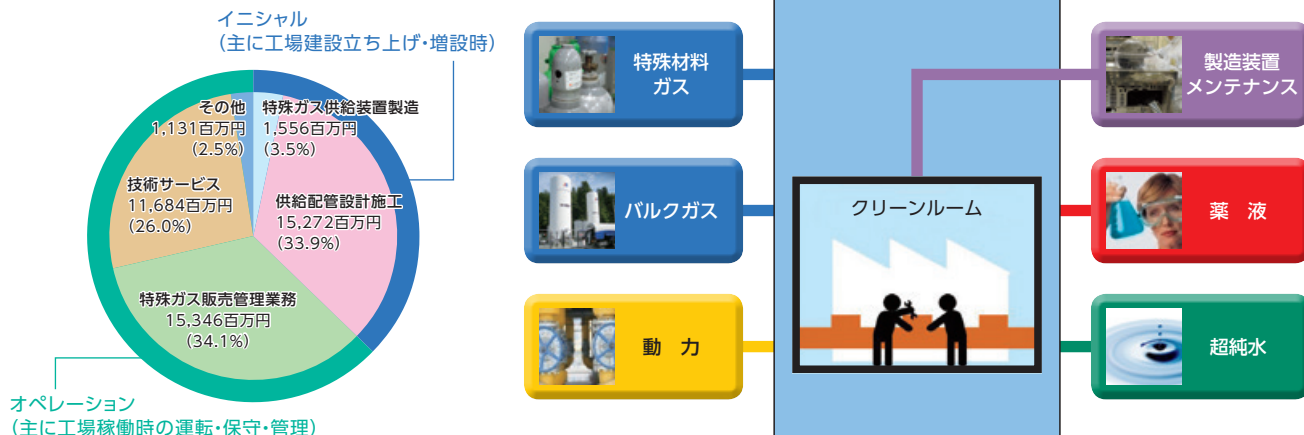
エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。さらに顧客工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等の技術サービスを提供しております。



エレクトロニクス関連事業 内訳



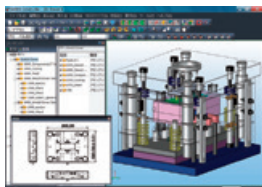
熊本県菊池郡大津町に熊本事業所を開設

2022年11月、当社は熊本県菊池郡大津町に熊本事業所を開設しました。九州地域に立地する半導体工場の活性化・発展に貢献する目的の下、熊本県及び大津町のご支援を頂きながら事業展開を円滑に進めるため、2022年9月には企業立地協定を締結しております。菊池郡大津町に事業所を開設することで、九州地域の半導体工場向けの支援拠点として機能させてまいります。現在、熊本事業所では既存建屋の改装や新設ガス倉庫などの建設を行っており、2024年1月の完成を予定しております。



完成予想図(イメージ)

グラフィックスソリューション事業



デジタルサイネージソリューション

サイネージプレーヤーやクラウド型ネットワークソリューション、マルチディスプレイ、マルチプロジェクションシステム等、幅広い製品・サービスをご提供しています。豊富な導入実績とノウハウにより機器選定からシステム構築・コンテンツ制作、ご導入後のサポートまで行っています。

店舗や美術館・博物館、交通機関、ライブイベント、金融機関、教育機関、医療機関など、幅広い分野でご活用いただいています。

映像配信・ブロードキャストソリューション

放送用3Dキャラクタージェネレーターのご提供のほか、ストリーミング配信技術をはじめとするIPネットワークを活用した製品群により、遠隔地への映像配信や伝送のご要望にお応えしています。テレビ局・オフィス・病院・学校など、幅広い機関で多数ご採用いただいています。

3Dビューアの開発・販売

製造業向けに3Dデータの有効活用を促進するソフトウェアの開発・販売を行っています。安価で使い易さにこだわっています。

Inter BEE 2022に出展

グラフィックスソリューション事業部は、音と映像と通信のプロフェッショナル展「Inter BEE 2022」(2022年11月16日～18日、幕張メッセ)に出展し、自社ブースにて次世代伝送規格に対応する最新の映像伝送ソリューションを中心に、映像をとりまくすべての業界における新しい変化と一緒に成長していく当社のソリューションをご提案しました。

また、企業間の垣根を超えた連携でIP伝送の可能性を提案する「INTER BEE IP PAVILION」コーナーにも参加し、新製品のOver IP エンコーダー・デコーダー「Matrox ConvertIP」を展示しました。

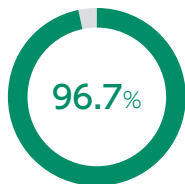


事業概況

Segment Overview

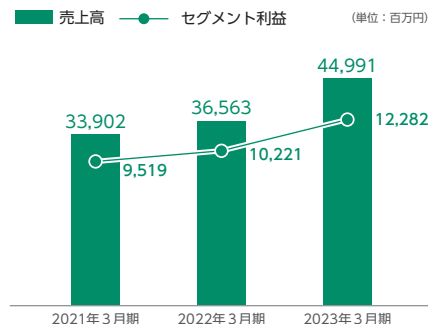
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



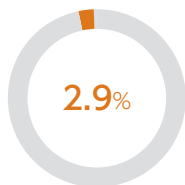
売上高	449億91百万円 (前年同期比 23.1% 増)
セグメント利益	122億82百万円 (前年同期比 20.2% 増)

特殊ガス販売管理業務、製造装置メンテナンス用部品の製造・販売を中心に堅調に推移



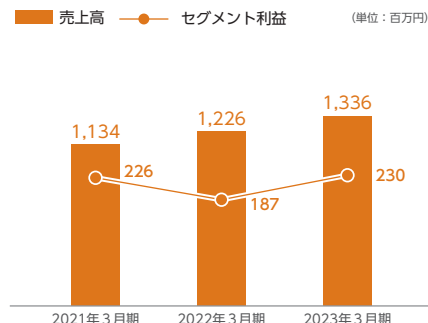
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



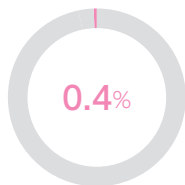
売上高	13億36百万円 (前年同期比 9.0% 増)
セグメント利益	2億30百万円 (前年同期比 23.3% 増)

デジタルサイネージ向け製品を中心に堅調に推移



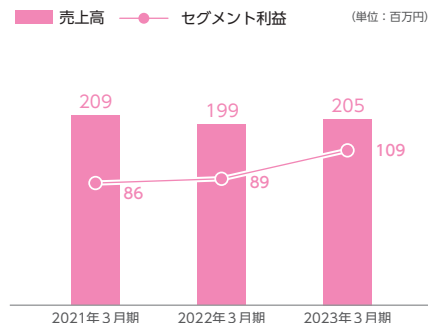
太陽光発電事業

事業別売上高比率



売上高	2億05百万円 (前年同期比 3.2% 増)
セグメント利益	1億09百万円 (前年同期比 21.6% 増)

三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働



連結財務データ

Consolidated Financial Statements

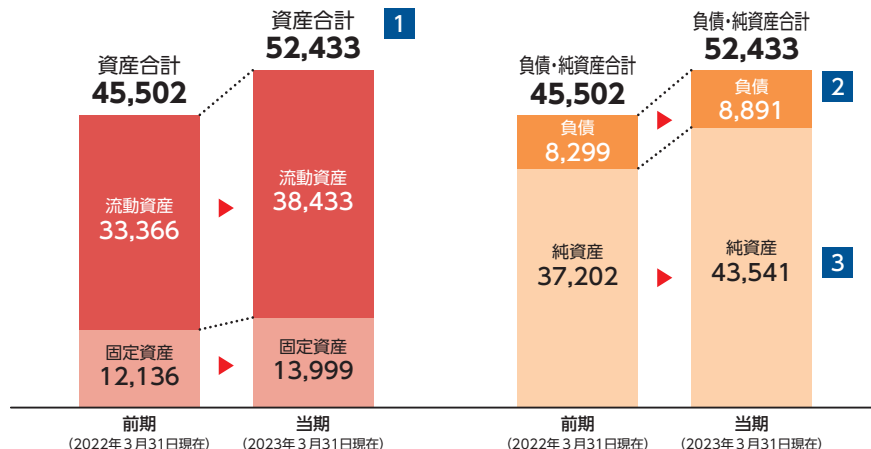
詳細情報は

ジャパンマテリアル IR

検索

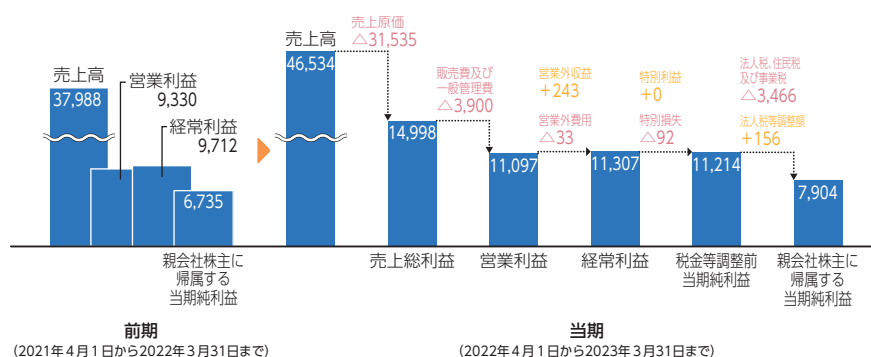
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



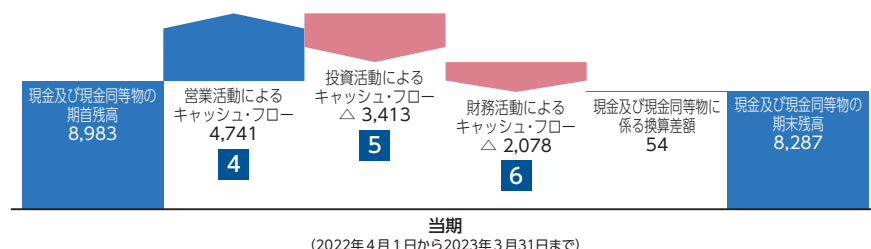
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は524億33百万円となり、前期末と比べ69億31百万円増加しました。主に原材料及び貯蔵品、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品が増加しました。

2 負債合計

負債合計は88億91百万円となり、前期末と比べ5億92百万円増加しました。主に未払金、未払法人税等が増加しました。

3 純資産合計

純資産合計は435億41百万円となり、前期末と比べ63億39百万円増加しました。利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益112億14百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額29億42百万円、棚卸資産の増加28億22百万円、売上債権の増加18億10百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入14億86百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出28億15百万円、定期預金の預入による支出20億45百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は、配当金の支払額18億47百万円であります。

会社概要(2023年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証プライム市場、名証プレミアム市場
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)1,468名、(単体)428名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本店所在地：三重県三重郡菰野町永井3098番22

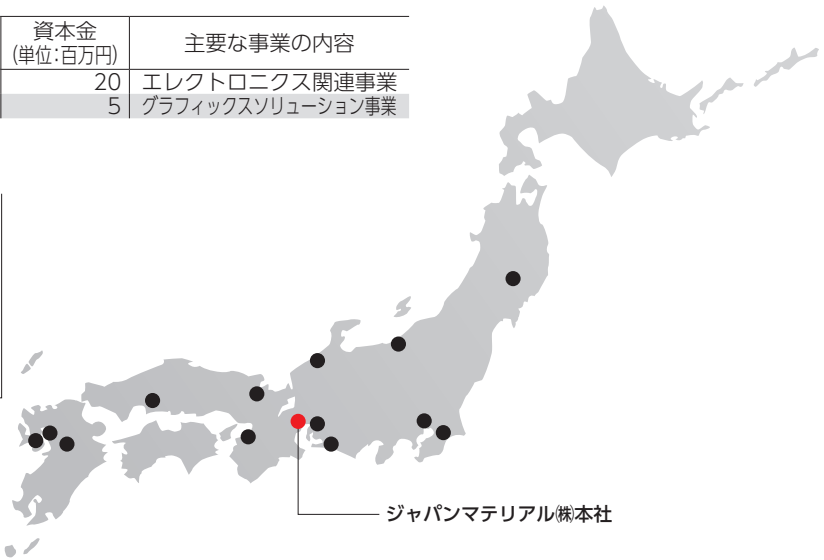
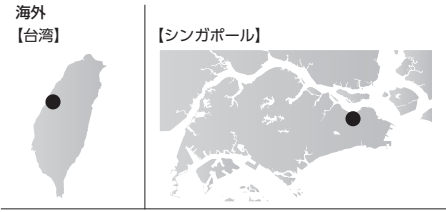
関係会社(連結・2023年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菰野町	310	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	東京都新宿区	19	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業

関係会社(非連結・2023年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社WiL	三重県三重郡菰野町	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社バック・ステージ	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業

グループネットワーク



役員(2023年6月28日現在)

代表取締役社長	田 中 久 男
常務取締役執行役員	甲 斐 哲 郎
常務取締役執行役員	田 中 宏 典
取締役執行役員	長 谷 圭 祐
取締役執行役員	坂 口 好 則
取締役執行役員	矢 内 信 晴
取締役執行役員	田 中 智 和
社 外 取 締 役	大 島 次 郎
社 外 取 締 役	杉 山 賢 一
社 外 取 締 役	沼 沢 禎 寛
取締役(常勤監査等委員)	喜 多 照 幸
社外取締役(監査等委員)	春 馬 葉 子
社外取締役(監査等委員)	今 枝 剛
執 行 役 員	北 川 浩 二
執 行 役 員	城 戸 勝 喜
執 行 役 員	田 村 安

株式情報

Stock Information

株式の状況 (2023年 3月31日現在)

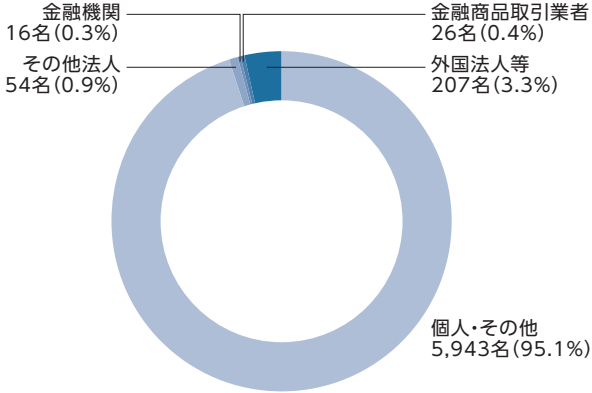
発行可能株式総数	324,000,000株
発行済株式の総数	102,651,780株(自己株式2,497,740株を除く)
単元株式数	100株
株主数	6,247名

大株主の状況 (2023年 3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	12,519,900	12.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	11,327,100	11.0
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	9,695,700	9.4
田中 智和	8,802,900	8.6
株式会社HT	5,300,000	5.2
T&T株式会社	5,300,000	5.2
喜多 照幸	2,525,060	2.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,315,900	2.3
公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団	2,200,000	2.1
株式会社百五銀行	2,160,000	2.1

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(2,497,740株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



IRサイトのご案内

IR情報の詳細につきましては、当社IRサイトをご覧ください。
<https://www.j-materials.jp/ir/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領
株主確定日 3月31日 (期末配当)

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3か月以内

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.j-materials.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

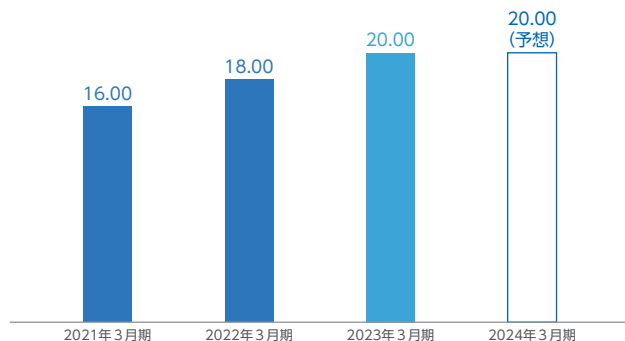
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移

(単位：円)



株主優待制度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。



保有株式数		優待内容	
5,000株以上		QUOカード	5,000円分
1,000株以上	5,000株未満	QUOカード	3,000円分
100株以上	1,000株未満	QUOカード	1,000円分

「福岡ハカセの読書会 in KOMONO」大阪・関西万博イベントを開催

2022年10月23日、菰野町町民センターホール(三重県)にて、「福岡ハカセの読書会 in KOMONO」を開催しました。当社は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のテーマ事業「シグネチャーパビリオン」の中で、福岡伸一プロデューサーのパビリオン「いのちを知る」にゴールドパートナーとして協賛しており、当イベントは公益社団法人2025年日本国際博覧会と共同開催し、福岡ハカセが文章を寄稿された絵本『ホタルの光をつなぐもの』を題材に、未来を担う子供たちと一緒に「自然と共に生きる」について考えました。スペシャルゲストとしてキャスターの膳場貴子さんをお招きし、福岡ハカセ・膳場さんによる絵本の朗読をはじめ、自然とのふれあい体験のお話会、プロジェクションマッピングによるクイズ大会などを行いました。約320名(お子様120名、大人200名)にご来場いただき、お子様だけでなく大人も興味深く楽しめるプログラムに会場は大変盛り上がりしました。なお、お子様向けの体験コーナーの各システムや、プロジェクションマッピングの映像演出は、当社グループ会社の(株)バック・ステージが制作しました。



【後援】三重県、菰野町、四日市市、菰野町教育委員会、四日市市教育委員会

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22

TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828

<https://www.j-materials.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。